

## NY マーケットレポート (2016 年 8 月 16 日)

NY 市場では、アジア市場からの流れを受けて、序盤は軟調な動きとなった。前日の米経済指標の悪化を背景に、米国の利上げ期待が後退したとの見方が広がっており、ドルは軟調な動きが続いた。ドル/円は、一時 100 円台割れとなり、英国が EU 離脱を決めた 6 月 24 日以来の安値を付ける動きとなった。しかし、その後に発表された米住宅着工件数が市場予想を上回り、2 カ月連続のプラスとなったことや、鉱工業生産が 2014 年 11 月以来 1 年 8 カ月ぶりの高水準となったことを好感し、ドル買いとなった。また、NY 連銀総裁、アトランタ連銀総裁が、9 月の利上げの可能性に言及したこともドルを押し上げる要因となった。ただ、欧米の株価が軟調な動きとなったことから、終盤にかけては上値の重い動きが続いた。

### 2016年 8月16日 (火)

| NEW YORK | NY終値   | NY高値   | NY安値   |
|----------|--------|--------|--------|
| USD/JPY  | 100.29 | 100.54 | 99.56  |
| EUR/JPY  | 113.13 | 113.25 | 112.55 |
| GBP/JPY  | 130.78 | 130.90 | 129.24 |
| AUD/JPY  | 77.21  | 77.29  | 77.04  |
| NZD/JPY  | 72.97  | 73.02  | 72.54  |
| EUR/USD  | 1.1279 | 1.1323 | 1.1247 |
| AUD/USD  | 0.7699 | 0.7750 | 0.7672 |

| 米主要株価       | 終値       | 前日比     |
|-------------|----------|---------|
| 米ダウ平均       | 18552.02 | -84.03  |
| S&P500      | 2178.15  | -12.00  |
| NASDAQ      | 5227.11  | -34.90  |
| 日経225 (CME) | 16560    | -310    |
| トロント総合      | 14703.44 | -73.58  |
| ボルサ指数       | 48351.96 | -342.94 |
| ボエスバ指数      | 58855.43 | -290.54 |

#### 8/17 経済指標スケジュール

09:30 【シンガポール】7月輸出  
 09:30 【シンガポール】7月電子機器輸出  
 09:30 【オーストラリア】7月ウエストバック先行指数  
 10:30 【オーストラリア】2Q賃金コスト指数  
 17:30 【英国】7月失業率  
 17:30 【英国】7月失業者数推移  
 17:30 【英国】6月ILO失業率[四半期]  
 18:00 【スイス】8月ZEW景況感調査  
 20:00 【南アフリカ】6月実質小売売上高  
 20:00 【米国】MBA住宅ローン申請  
 21:00 【ポーランド】7月雇用  
 21:00 【ポーランド】7月平均総賃金  
 03:00 【米国】FOMC議事録公表

| コモディティ  | 終値      | 前日比   |
|---------|---------|-------|
| NY GOLD | 1356.90 | +9.40 |
| NY 原油   | 46.58   | +0.84 |
| CMEコーン  | 337.25  | +0.25 |
| CBOT 大豆 | 1007.25 | -2.00 |

| 米国債利回り | 本日    | 前日    |
|--------|-------|-------|
| 2年債    | 0.75% | 0.73% |
| 3年債    | 0.87% | 0.85% |
| 5年債    | 1.16% | 1.13% |
| 7年債    | 1.42% | 1.40% |
| 10年債   | 1.58% | 1.56% |
| 30年債   | 2.29% | 2.28% |

#### 8/17 主要会議・講演・その他予定

・セントルイス連銀総裁 講演

## NY 市場レポート

### ◀ 経済指標の結果 ▶

7 月米住宅着工件数 121.1 万件（予想 118.0 万件・前回 118.6 万件）  
 前回発表の 118.9 万件から 118.6 万件に修正

7 月米住宅着工件数（前月比） 2.1%（予想 -0.8%・前回 5.1%）  
 前回発表の 4.8%から 5.1%に修正

7 月米建設許可件数 115.2 万件（予想 116.0 万件・前回 115.3 万件）

7 月米建設許可件数（前月比） -0.1%（予想 0.6%・前回 1.5%）

### 経済指標データ

#### ◀米住宅着工・許可件数▶

|        | 7 月   | 6 月   | 5 月   | 4 月   | 3 月   | 2 月   |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 住宅着工件数 | 121.1 | 118.6 | 112.8 | 115.5 | 111.3 | 121.3 |
| 一戸建て住宅 | 77.0  | 76.6  | 73.7  | 76.4  | 75.1  | 84.5  |
| 集合住宅   | 44.1  | 42.0  | 39.1  | 39.1  | 36.2  | 36.8  |
| 許可件数   | 115.2 | 115.3 | 113.6 | 113.0 | 107.7 | 116.2 |
| 一戸建て住宅 | 71.1  | 73.8  | 73.1  | 74.1  | 72.5  | 73.3  |
| 集合住宅   | 44.1  | 41.5  | 40.5  | 38.9  | 35.2  | 42.9  |

#### 前月比（%）

|        |      |     |      |     |      |      |
|--------|------|-----|------|-----|------|------|
| 住宅着工   | 2.1  | 5.1 | -2.3 | 3.8 | -8.2 | 7.5  |
| 住宅建設許可 | -0.1 | 1.5 | 0.5  | 4.9 | -7.3 | -2.2 |

7 月の米住宅着工件数は、年率換算で前月比+2.1%の 121.1 万件となり 2 カ月連続のプラスとなった。主力の一戸建て住宅と集合住宅がいずれも増加したことが押し上げ要因となった。前年同月比では+5.6%。一戸建て住宅は、前月比+0.5%の 77 万件と 2 カ月連続の増加、それ以外の集合住宅は+5.0%の 44.1 万件。地域別では、北東部が+15.2%、中西部が+2.3%、南部が+3.5%、西部は-5.9%だった。着工件数の先行指標となる建設許可件数は、前月比-0.1%の 115.2 万件と 4 カ月ぶりに減少となった。前年同月比では+0.9%。

### ◀ 経済指標の結果 ▶

7 月米消費者物価指数（前月比） 0.0%（予想 0.0%・前回 0.2%）

7 月米消費者物価指数[コア] 0.1%（予想 0.2%・前回 0.2%）

7 月米消費者物価指数（前年比） 0.8%（予想 0.9%・前回 1.0%）

7 月米消費者物価指数[コア] 2.2%（予想 2.3%・前回 2.3%）

### 指標結果データ

#### ◀消費者物価指数▶

|            | 7 月  | 6 月  | 5 月  | 4 月 | 3 月  | 2 月  |
|------------|------|------|------|-----|------|------|
| 全品目        | 0.0  | 0.2  | 0.2  | 0.4 | 0.1  | -0.2 |
| 除く食品・エネルギー | 0.1  | 0.2  | 0.2  | 0.2 | 0.1  | 0.3  |
| エネルギー      | -1.6 | 1.3  | 1.2  | 3.4 | 0.9  | -6.0 |
| サービス       | 0.2  | 0.3  | 0.3  | 0.3 | 0.2  | 0.3  |
| 食品・飲料      | -0.0 | -0.1 | -0.2 | 0.2 | -0.2 | 0.2  |
| 居住費        | 0.3  | 0.2  | 0.3  | 0.2 | 0.1  | 0.2  |
| 医療費        | 0.5  | 0.4  | 0.3  | 0.3 | 0.1  | 0.5  |
| 娯楽費        | -0.1 | 0.1  | 0.0  | 0.3 | 0.2  | 0.2  |

7月の米消費者物価指数は、前月比横ばいとなり、今年2月以来5ヵ月ぶりの低水準となった。FRBが重視する前年同月比では+0.8%と昨年12月以来の小さな伸びとなった。原油価格が下落したことが要因となった。変動が激しいエネルギーと食品を除いたコア指数は、前月比+0.1%、前年同月比では+2.2%となり、前月から上昇幅が縮小した。品目別では、エネルギーが-1.6%となり、ガソリンは値下がりしたが、電気や天然ガスは上がった。また、果物・野菜などが値上がりする一方、乳製品は低下し、食品全体では横ばいだった。そのほか、家賃は値上がりした。

## << 要人発言 >>

### ダドリー・NY連銀総裁

- ・「利上げの時期にじわじわと近づいている」
- ・「9月利上げはあり得る」
- ・「金利先物市場は利上げを織り込み不足」
- ・「状況を考慮すると10年債利回りはかなり低い」
- ・「インフレ目標の引き上げを協議するのは時期尚早」

## << 経済指標の結果 >>

7月米鉱工業生産（前月比） 0.7%（予想 0.3%・前回 0.4%）

前回発表の0.6%から0.4%に修正

7月米設備稼働率 75.9%（予想 75.6%・前回 75.4%）

### 指標結果データ

#### <<米鉱工業生産・設備稼働率>>

|       | 7月   | 6月   | 5月   | 4月   | 3月   | 2月   |
|-------|------|------|------|------|------|------|
| 鉱工業生産 | 0.7  | 0.4  | -0.2 | 0.5  | -1.0 | -0.2 |
| 製造業   | 0.5  | 0.3  | -0.2 | 0.1  | -0.4 | 0.0  |
| 鉱業    | 0.7  | -0.3 | 0.8  | -3.0 | -2.3 | -0.4 |
| 最終財   | 0.6  | 0.5  | -0.3 | 1.2  | -1.0 | -0.1 |
| 原材料   | 1.0  | 0.5  | 0.0  | -0.2 | -0.9 | -0.3 |
| 設備稼働率 | 75.9 | 75.4 | 75.1 | 75.2 | 74.8 | 75.6 |
| 製造業   | 75.4 | 75.0 | 74.8 | 75.0 | 75.0 | 75.4 |
| 鉱業    | 74.9 | 74.1 | 74.1 | 73.2 | 75.2 | 76.8 |

7月の米鉱工業生産は、前月比+0.7%と2ヵ月連続のプラスとなり、2014年11月以来1年8ヵ月ぶりの高水準となった。生産指数は、製造業が+0.5%と2ヵ月連続の上昇で、昨年7月以来1年ぶりの高水準。電力・ガスは+2.1%、鉱業は+0.7%。耐久財は+0.6%となり、自動車・同部品が+1.9%、木製品が+1.3%、一般機械が+0.7%、電気機器・家電は-0.4%、家具関連は-0.8%。非耐久財は+0.5%となり、化学製品が+0.8%、石油・石炭製品が+1.0%、食品・飲料が+0.2%、繊維関連が+0.4%。7月の設備稼働率は、前月比+0.5ポイント上昇の75.9%と2ヵ月連続で拡大し、昨年10月以来の高水準となった。

## <<欧州株式市場>>

欧州株式市場は、世界経済の先行き不透明感が圧迫材料となり、主要株価は軟調な動きとなった。そして、英FT100と独DAXは、年初来高値近辺で推移していたことから、利益確定の売りも出ていた。



出所：Bloomberg

#### 《 要人発言 》

ロックハート・アトランタ連銀総裁

- ・「米利上げは、少なくとも今年1回は適切だろう」
- ・「いかなる政策姿勢にも拘束されていない」
- ・「米経済は、今年下期と来年の先行きを信頼」

#### 《 NY 金市場 》

NY 金は、外国為替市場でドルが主要通貨に対して下落したことで、ドルの代替資産とされる金を買う動きが広がった。ただ、NY 連銀総裁が9月の追加利上げは可能との見方を示したことで、金を売る動きもあった。



出所：Bloomberg

## << NY 原油市場 >>

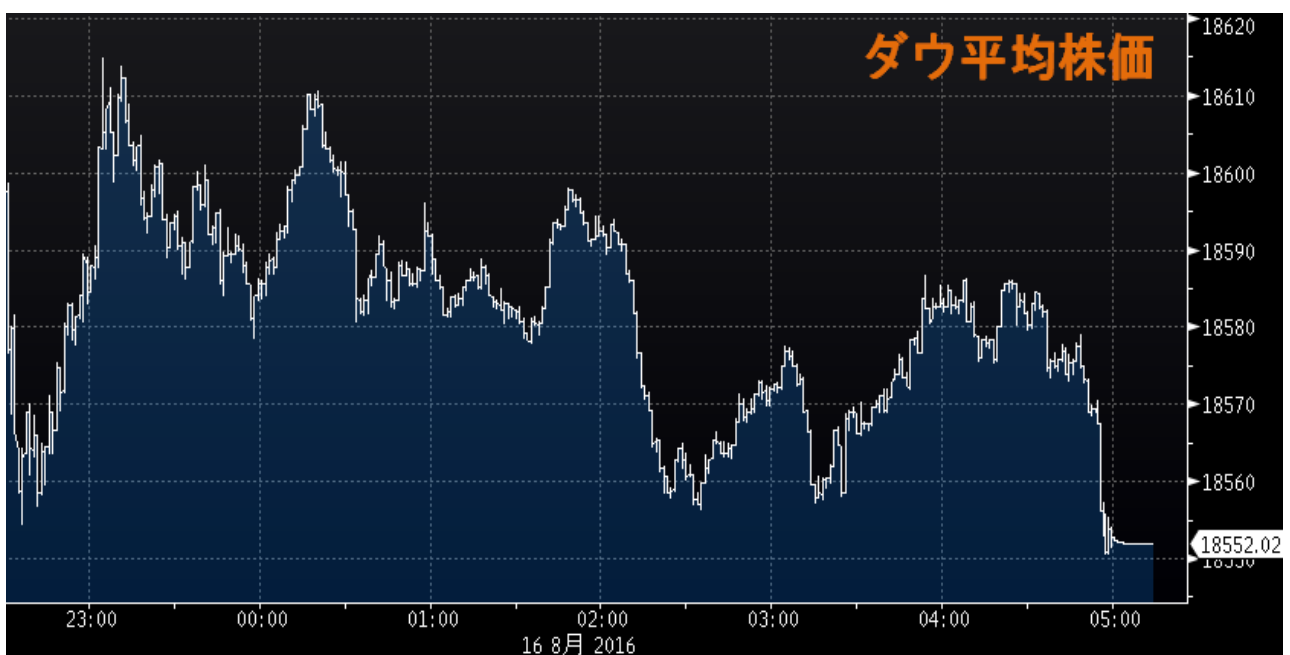
NY 原油は、主要産油国の間で増産凍結に向けた協議が進展し、原油価格が上昇するとの期待が強まり、買いが続いた。また、ドルが円やユーロなどに対して下落し、ドル建ての原油の割安感が出たことも支援材料となった。終値ベースでは、7 月中旬以来約 1 ヶ月ぶりの高値となった。



出所：Bloomberg

## << 米株式市場 >>

米株式市場は、欧州主要株価が軟調な動きとなったことや、ダウとナスダックがともに前日、過去最高値を更新したことで、利益確定の売りが出たことも影響し、主要株価は序盤から軟調な動きが続いた。NY ダウ平均株価は、序盤から軟調な動きとなり、終盤には前日比 85 ドル安まで下落する動きとなった。



出所：Bloomberg

## 《外国為替市場》

外国為替市場は、欧州市場の流れを受けて、序盤は軟調な動きとなったが、米経済指標が予想を上回る結果となったことから、ドル買い・円売りとなり、ドル円・クロス円は堅調な動きとなった。しかし、欧米の株価が軟調な動きとなったことから、上値の重い動きとなった。



出所：Bloomberg



出所：Bloomberg

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。